

かずさエフエム株式会社 放送番組審議会議事録

1. 日 時 2020年10月9日(金) 午後4時00分から午後5時00分

2. 場 所 かずさエフエム(株)会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

出席委員の氏名

委員長 (議長) : 藤波陽四郎

副委員長 : 早川令子

委 員 : 重城貴浩、白石久雄、宮嶋亮二、竹内一視

欠席委員の氏名 : 村重正明

放送事業者側出席者

代表取締役社長 石村比呂美

統括部長 松井 隆幸

制作技術 兼平 健一

4. 議題

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について

(2) 番組内容の審議について

5. 議事の概要

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について 石村社長より報告

新番組、リニューアルした番組、電話レポート、司会派遣、プレゼント等

(2) 番組審議について

対象番組名 : 「袖ヶ浦ミュージアム」

(かずさでふらっと毎第4週 番組内)

放送時間 : 2020年9月23日放送分

6. 審議内容

審議委員からの意見

評価できるところ

- ・導入が「大阪なおみの快挙」と明るい話題で良い
- ・日本昔話的な雰囲気、歴史好きに好まれると思うし、身近な話題で次回も聴きたいと思った
- ・他の地区にもこのような風習や歴史があるのではと期待を持った
- ・地元根差した放送局ならではの内容でとても良い番組だと思うこれからこのような放送を期待する
- ・郷土史家との会話が良かったし楽曲選曲も最高
- ・郷土史家の語り口と内容がマッチしていてとても聴きやすかった
- ・地元にながらも知らなかった内容だったので興味深く聴いた
- ・安定感のある語り口で落ち着いて聴けた
- ・少なくなる行事を再認識できたし若年層にとっても儀式的な飾り物等の知識が深まったと思う
- ・新しい生活様式を余儀なくされる中、現状を克服しようとする人々の思いは昔も今も同じである事や、このような取り組みがあって今があると感じさせる番組だった
- ・時代の変遷の中でなくなる風習等が番組を通して継続する契機となればと思った
- ・コロナ過の中でタイムリーな企画だった
- ・豊富な知識に裏付けられた郷土史家の語り口は興味深く、終始聞き入ってしまった
- ・番組を聴いていて袖ヶ浦郷土博物館を訪れたいと思った
- ・聞き手が適宜質問を入れたり解説の要約をしたりすることで一層わかりやすかった
- ・語り・音楽がマッチしていた
- ・前段に他地域の説明があることで地元の行事特性がわかりやすかった
- ・難しい言葉をかみ砕いて丁寧に解説されているので解りやすかった

改善すべきところ

- ・鹿島神宮とこの地域とのかかわりがもう少し織り込めるともっとよかったのではないかと思います

7. 措置内容

石村社長

かずさエフエムでは、地元かずさ四市の歴史や史跡、風習等を紹介する番組を毎週放送しています。

- ・木更津市は「木更津さんぼみち」
- ・君津市は「君津いまむかし」
- ・富津市は「ふらっと富津」
- ・袖ヶ浦市は「袖ヶ浦ミュージアム」いう番組構成です。

ナビゲーターは、郷土資料館館長はじめ学芸員や郷土史家、みち案内人協会の方々をお願いし、10年程続いている番組です。

何気なく通り過ぎる道の片隅にある石碑等の意味や地域の歴史をたどったり、そこに息づく人々の暮らしや思いを掘り起こしたり、故郷を再発見していただきたいと思いを込め構成しています。

コロナ感染症は現代人にとって初めての経験ですが、時代を振り返れば、当時の伝染病等をその時代、時代で乗り越えてきた歴史があり、そこから学ぶ事があると知って頂ければと思ひ放送致しました。

タイムリーな内容とご評価いただけて大変うれしいです。

時代は繰り返していることを再認識するとともに、当時の人々に思いをはせ、この局面を乗り越えていきたいと思ひます。

10月20日からは、君津市久留里城址資料館企画展「疫病ときみつの信仰「道きり」」を中心に が開催されます。

どうぞ機会がございましたら、ぜひ足を運んでいただきたいと思ひます。

今後も地域に目を向け、それぞれの立場で活躍される方々の協力を頂きコミュニティラジオならではの番組制作を心がけてまいりますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもって本審議会の全てを終了。 藤波議長が午後5時00分に閉会を宣言した。

8. 公表について

公表の方法・公表年

- ① 自社放送：「モーニングボッサ」内
2020. 10. 18
(日) 6:50～10分間放送
- ② 事務所への備置き
- ③ 自社ホームページへの掲載

公表の内容 ・議事録のとおり

9. その他参考事項

- ・特になし

以上